

Title	前号目次 次号予告 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	三田学会
Publication year	1910
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.3, No.5 (1910. 5)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19100515-0125">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19100515-0125</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

組合の二つが所在に並び起りて小賣商業者を左右より挾撃せんとする状態に向ひつゝある我邦最近の情況サテハ激烈なる競争に伴うて動もすれば發生せんとする弊風例へば彼の不正樹事件などを念頭に浮べつゝ讀み行くときは先進文明の諸國が採用して或は失敗し或は成功せる秘策の跡なども宛ら眼前に活躍するが如くに思れて興味決して淺らざるなり。却説第二部は所謂銀行政策にして普通の銀行論にあらん程の事項は何にくれとなく何れも簡單明瞭に叙説しあるのみならず銀行と工業と題せる第五節の如き普通の銀行論に稀に見當る好文字もあり。次に第三部は即ち取引所論にして全體を九節に分ち取引所に關する事項は其性質たるを組織たると効用たると改良策たるとを問はず悉く之を論述せり。

内容既に右の如くなるに解説者の筆を行るや頗る流暢にして毫も滯滞の痕を止めざるは眞に先時事新報記者が嘆稱せるが如し。評者は例令解説にして翻譯に非ざるにせよ邦文に引き直し難き外

國語而かも倍備なる獨逸書を斯くまでにコナシツケられたる教授の技倆に敬服せざるを得ざる者なり。否管に然るのみならず、評者は解説者が本書の序文に於て原著者は最新其初に採用せる叙述の順序を捨て、大體に於て舊來の順序に従ひたれば初學者の爲め普通の叙述法と本書の叙述法とを對照して以て經濟政策の一部分のみを窺はんとする者に便せんと一言して其對照表を掲げられたる用意周到なる親切心に多大の敬意を拂はんと欲する者なり。要之評者は有益にして興味に富み且つ親切なる書として是を世の經濟に志ある者の左右に推擧するを辭せざるなり。

### 前號(第三卷) 第四號) 目次

#### 論 說

自然法に關する學說の變遷を論ず 田中萃一郎

英國の銀行準備金問題(其一) 堀江 歸一

最惠國條款の沿革 板倉 卓造

人生の意義及び價值(其四) 川合 貞一

#### 講 演

イスパニア大艦隊破滅談 箕作 元八

#### 雜 錄

教育史上の自然主義(其一) 石田 新太郎

奧匈國銀行の外國爲換政策 久山 寅一郎

遊戯の說(其二) 澤木 四方吉

#### 新著紹介

カヅールの後半世(其三完) 高橋 誠一郎

幸田大鹽平八郎

河部 秀助

### 次號 豫告

#### 論 說

人生の意義及び價值(其五) 川合 貞一

論題未定 氣賀 勘重

同 神戸 寅次郎

同 堀切 善兵衛

#### 雜 錄

教育史上の自然主義(其三) 石田 新太郎

英國工場法の淵源(其二) 高橋 誠一郎

遊戯の說 澤木 四方吉

廣告主へ御注文の節は三田學會雜誌廣告に依る御附記を望む

原稿ハ凡テ左ニ宛テ御送附被下度候

市内麻布區狸穴町四十一番地

星野勉三

事務ノ一切ハ

市内芝區三田二丁目慶應義塾内

三田學會

ニ宛テ御送附被下度候

雜誌ノ御注文ハ凡テ發賣所へ宛テ御申込被下度候

原稿ノ切期日ハ毎月卅日トス

定價 一册金貳拾錢 郵税金壹錢五厘  
十二册金貳圓四拾錢 郵税共  
郵券代用一割増

### 營業案内

徽章賞牌

金銀木杯七寶

其他美術金屬各種

期日正確、品質純良

技術精巧、價格低廉

右之通御注文ニ應シ調製御上納申上ベク候間多少ニ不拘御用向仰付被下度願上候

東京麴町區飯田町四丁目十三

諸官省 各學校 御用 赤田末吉

明治四十三年五月十二日印刷  
同 四十二年五月十五日發行

東京市麻布區新堀町七番地

發行兼編輯人 神戶彌作

東京市京橋區宗十郎町十五番地

印刷人 中島丑之助

東京市京橋區宗十郎町十五番地

印刷所 會社 東京國文社

東京市芝區三田慶應義塾内

發行所 三田學會

發賣所 粗山書店

東京市京橋區築地二丁目  
振替貯金東京二四一七

取次店

東京堂、有斐閣、上田屋、至誠堂、北隆館、東海堂、良明堂（京都）東枝、寶文館、（大阪）盛文館、杉本、（九州）菊竹（臺灣）新堂高（清國）濱井

本社は積立金八百五十餘萬圓餘あり保險申込人安心して後事を託するを得べし。本社は開業以來三十年を經過し基礎確實動かざることを富嶽の如し。本社の開明は十四年七月七日開業し我國に於ては生命保險の開祖なり。保險申込人の最も注意すべきは生命保險の會社を擇むにあり。生命保險の効用は世人既に熟知せるを以て今多言せず。創立より拂渡したる保險金高は五百五十餘萬圓なり。全國樞要の地に支店を置き到處に代理店あり。日曜大祭祝日を除き毎日保險申込を受く。規則書は葉書にて御申越次第送呈す

東京市麴町區八重洲町壹番地  
明治生命保險株式會社

電話 本局百三十五番  
本局千六百八十八番

本社は株金の外に諸積立金貳百四拾七萬餘圓ありて其の支拂最も迅速なり。本社は明治廿四年二月の開業にして二十年の經驗を有し基礎鞏固なり。保險に付したる物は抵當品の用を爲し低利の金員借用の益あり。料理屋旅人宿の如き保險すれば一朝營業の資本を失ふ恐なし。市町村共有物を保險するは地方經濟上最も得策ならん。製造所を火災保險に付せざれば一日も安心し難し。火災保險料は被保險地検査の土之を定む。日曜大祭祝日を除き毎日保險申込を受く。規則書は葉書にて御申越次第送呈す

東京市麴町區八重洲町壹番地  
明治火災保險株式會社

電話 本局三百七十五番  
本局七百四十九番  
營業係用 本局千〇九十九番